

# 三重県議会 県民ミーティング 「議員と語ろう三重の未来！」

## 目的

三重県議会は、県政の重要課題や当面する政策課題をテーマに、県民と議員が自由に意見交換を行い、その成果を今後の議会運営に反映させるとともに、政策提言を行うことにより、二元代表制の下での開かれた議会運営の推進及び広聴広報機能の充実、並びに独自の政策立案機能の向上を図り、もって分権時代を先導する議会の実現に資することを目的として、「三重県議会 県民ミーティング」を設置いたしました。

## 委員

三重県議会議員十四名、議員の推薦等による十八歳以上の県民二十四名を県民委員として、総勢三十八名で構成しています。

## テーマ

「人口減少社会をどう切り拓くか」として、日本の総人口が減少するという、大きな構造変化の時代に、安心して子どもを産み育てることができ、高齢期をいきいきと生きることができ、また、産業・経済活動も豊かな地域を築いていくために、三重県ではどのようにしていくべきか議論していきます。



## 第一回 県民ミーティングの概要

平成十七年十二月十三日に、三重県議会議事堂 全員協議会室において開催しました。

第一回目は、基礎的な情報提供、課題提起のため、有識者から「人口減少社会の構造変化」と題し、スピーチをいただきます。

また、県民委員からの意見・課題提案などを多く頂戴しました。

## キーノート・スピーチ (有識者による情報提供)

(株)三菱総合研究所  
地域経営研究センター  
チーフ・フランカー

川村 雅人氏

日本は、二〇五〇年には人口が約一億人、高齢人口比率が約三十六％、生産年齢人口が約五十四％になり、世界有数の長寿国かつ低出生国になるとの人口問題研究所の予測があります。

人口減少社会の構図として、「投資が投資を生む」という、これまでの経済拡大システムが機能しなくなる、また、景気循環が不安定になり、不況期が長期化する」と考えます。

人口減少社会は、先進国に課せられた歴史的宿命と受け止め、その先陣を拝する国として、「誰もが互いに信じあえるくづくりに」真摯に果敢にチャレンジしていくことが大切で、社会を等身大のダウンサイジング、また、次世代に継承する価値創造への投資、さらに、持続可能な共創・循環型の経済・社会システムの実現が重要であると思えます。

## 意見交換

県民委員から、「産みたいけれど産めない状況である。いろんな人にいろんな対策を行うべき」、「家庭で子どもを育てている人にも支援があつていいのではないか」、「社会を支えていく人を増やすことも必要」、「子育て社会は男女共同参画社会でないといけない」や「子どもの養育費がかかりすぎる」などの意見がありました。また、「年金制度についても考える必要がある」との意見もありました。

議会委員からは、「産みたい人が産める、働きたい人が働ける社会にならない」、「行政のあり方も視野に入れた人口減少社会を考えなくてはいけない」などの意見がありました。



## 次回の開催予定

第2回 平成18年2月14日

## お知らせ

県民ミーティングは、傍聴することができます。開催日程を議会ホームページ等でご確認のうえ、お越しく下さい。

また、インターネットによる生中継、録画中継も行う予定です。

なお、皆様からの県民ミーティングに対するご意見・ご提案も受け付けております。8ページに記載の議会事務局議事課まで、郵送またはFAXでお寄せください。